

# 舞台照明家協会ニュース

## No. 34

昭和四十年十一月二十五日印刷  
昭和四十年十二月一日発行  
発行所 港区新橋三丁目七番六号

舞台照明家協会会長

小川 丹

電話 (五九) 四八二四番

編集者 舞台照明家協会事務局

印刷所 株式会社新 宿 印刷

電話 (三七六) 二〇四四番

## 故 上條甲午殿の思い出

前 田 二 郎

協会の名与会員上条甲午殿がこの十一月七日亡くなられました。私が上条氏の許で仕事をしたのは昭和四年九月開場した新宿新歌舞伎座(今はない新宿第一劇場)で、約二年間でしたがその後も同じ松竹傘下のことであり陰に陽に御世話になりました。

思い出を書く回数かぎりありませんが(お兄様の御話によると)青年の頃家を飛び出し旅芝居とか、天一初代天勝一座などについて全国を巡業し、その行方もわからなかった由、(ご先輩上野氏の御話によると)、大正九年頃の浅草興行界のいわゆるキネオラマ時代に博覧会などで大いに活躍され、関東大震災直後松竹に入り、舞台照明用配電盤工事をはじめ、演劇舞台上に

はじめて、ほととぎすの海岸の場に月を出したり、プリズムによる虹、雲、火焰などを駆使され、その当時中央地区で舞台照明請負のようなことをしておられた松井阿久理太郎氏などと共々、舞台照明の黎明期に大変貢献されました。現今われわれの常識になっている舞台照明効果も数々考察され、その仕事の早く確実であった点など、私の大いに学び得たものでした。一方非常に気丈夫な方で、演出家俳優との衝突もしばしばで、気心になくとも口先が悪く、「馬鹿野郎」「半端人足ッ」などの叱咤は常のこと

舞台で「電気やッ」と呼ばれると、「電気やぢやない照明やダッ」といい返すのも彼でした。俗にいう職人気質というか、江戸ツ子気質とい

うか、宵越の銭は持たない性格で、私どもは良く飲み、かつ良く働かせられたものでした。また病気で足腰の立たぬような時でも、照明室のデスマーセットの上に座を敷いて寝ながらわれわれを指導しておられた責任感。また当時学究肌の遠山氏とはびったり行かなかつたのでしよう。秋葉氏、大庭氏など遠山氏のアシスタントで劇場へこられ大変困っておられた事々もなつかしく思い出されます。

兎もあれ爾後昭和三十年十二月松竹を定年退職をされる迄、一生を舞台照明の第一線に立たれ、そのころスポットなどはなく(あったのは帝劇と、貸器具屋のみ)燈光器の皿に色ニスを塗って照明をして居ったような時代から、前述のキネオラマ技術の導入、または配電盤の改善後輩の育成などに数々貢献され、今日の舞台照明という部門が確立される迄、その基盤を築き上げられた諸先輩の一人として、われわれ一同その御冥福を御祈りいたしたいと存じます。

第八回常任理事会

- 一、日時 昭和四十年十一月九日午後一時
- 一、場所 中央区立銀座東区民館一号室
- 一、出席者 小川、前田、大庭、大野、原、阿部 (順不同)

一、記号統一委員会報告

各地区提案を検討して協議会に最終案として提出するため、再度記号委員会及常任理事会にかけるため、近日中に会合をもつよう、事務局に依頼することになった。

一、協議会総会に對しての東京案作成に関する件

東京側として、協議会総会にどのように臨むかに対し、いろいろ討議したので、近日中閉会の常任理事会迄に意見を持寄るよう、欠席の委員にも通知することに決め、事務局に委嘱した。

一、新入員審査の件

長野県飯山市民会館所属山本貞夫紹介者滝尾正会員、事務局より経歴書により説明、これを承認、十一月一日よりとすることになった。

三時十五分閉会

第九回常任理事会・舞台・テレビジョン照明器具名稱記号統一委員会

- 一、日時 昭和四十年十一月十六日午後一時
- 一、場所 中央区立銀座東区民館一号室
- 一、出席者 小川、前田、和田、相馬、大庭、

高橋、青木、原、(順不同)

一、記号統一委員会報告

各地区の提案記号を検討、異なるものは多数決として処理して、決定をみた。これを十二月上旬閉会される協議会に三地区協同案として提出することになった。

一、ライセンス問題に關して

東京案として、証明書(実質的なもの、例えば照明経験年数、照明履歴、現在の地位等を記入したもの)を発行して、ライセンスの基礎として、これに平行して、テキストブック発行に力を入れ、これらを積み重ねて行く方向に進めることに了承、提案することになった。

一、賃金問題

東京としては働く人達の賃金を全国統一はせず、地区的に各個に決め、これが同じになってもかまわないが、地域的事情もあるので、賃金統一化はしない考えで臨むことに協議した。

一、テキストブック問題

東京で現在進行して居る大略な目次を示めし、細目にかんしては各地区の意見をきくことに了承。

以上各項目を東京統一意見として総会に臨むことに決議した。

一、理事会招集に関する件

十二月九日理事会を開催、協議会報告、名称

変更、会費値上に関する件を議題として提案され、これを了承した。 以上

四時閉会

第十回常任理事会開催

十二月九日木曜日午前十時より会議時間二時間・中央区立銀座東区民館一号室

第四回理事会開催

十二月九日木曜日午後一時より会議時間二時間／中央区立銀座東区民館一号室／議題◇協議会報告◇名稱変更◇会費値上◇総会の件

日本舞台テレビ美術家協会よりの礼状

謹啓

初秋の候ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。さて昭和四十年当協会主催「65舞台テレビ美術展」は、お蔭をもちまして多大の成果を収め、無事終了することができました。偏りに皆様方のご努力の賜ものと深く感謝致しております。また、当協会員一同は演劇、テレビ美術の一層の発展のために微力を尽したいと存じますので、今後とも皆様方の御厚情と御鞭撻を御願ひ申し上げる次第です。

右略儀ながら書面をもって御礼申し上げます  
昭和四十年十月十日

日本舞台テレビ美術家協会

一同会員

# 日本舞踊と照明の定式 (4)

田中恒雄

「若衆歌舞伎」は遊女歌舞伎が禁止されたために起ったのではなく、遊女歌舞伎の隆盛時代からずであつたもので、若衆歌舞伎も遊女歌舞伎と同様踊りのみをやつて居て、矢張り売色を主として居た。

遊女歌舞伎時代に於ける踊りは現在歌以外は一つも残つて居ないが、若衆歌舞伎の舞踊は、若衆と若い女との「小舞」を中心にしたレパートリーが殆んどで、しかもそれはみな優しい少年だったのだから、右近源左衛門（女形の元祖といわれる）のことを記した「古今役者物語」に見られるように「女かと思えて男なりけり」といったような性別を超絶した一種の「美」の律動が、將軍徳川家光を始め多くの若衆愛好者達によつて寵愛され、一連の「業平もの」（なりひら）ともいわれる「小舞十六番」別名「業平踊り十六番」として残されたのである。「関の小万」「加賀の菊」「松はゆたか」などは現在も残つて居る。「遊女歌舞伎」の禁止布令は、女優として舞台上立つことを一切許可しないという結果になつたので、ここに日本に女方（おんながた）と

いう特殊な職分が生れたのである。女方のことを「をやま」ともいうが、これは上方でつかつて居た遊女の異名「お山」から出たものと思われる。

「物真似」が演劇の根本的な要素である事はいう迄もないが、やがて「物真似狂言尽し」という演劇的な分子が小舞の間に取入れられるに至つて初めて、女の年令や更にその性格を扮する女方も考へて演じられるというようになったこの物真似に、廓へ遊びに行く男が演じる滑稽味ある「傾城買」（けいせいがい）の狂言が非常に人気を呼んだ。これを「傾城事」といい、丁度同じ頃、江戸の吉原、京の島原、大阪の新町等に廓が出来、享楽機関として当時の話題となつた。「傾城事」の別名を廓の地名をそのままとつて「島原」ともいう。今日なお、古典舞踊の題材として多く残る「廓もの」はここに源を發する所以である。

能の間狂言を模倣した「猿若」を当り芸として出發した猿若勘三郎は、若衆かぶきの座として、寛永元年（一六二四年）に江戸中橋（京橋

二丁目附近）に「猿若座」を創設した。これが江戸三座の筆頭中村座の創業である。猿若勘三郎をして、現在の歌舞伎俳優の第一号といつてよいであろう。ここに歌舞伎にとつて一転期を築いたのである。

以後二十年ばかりの間に、京に七軒、大阪に六軒、江戸に中村座を始め市村座、山村座の三座と三都の劇場が次々に建てられ、芝居の櫓が上つた。日本では古来、芸能というのは、人に見せる前に神に見せるものであるという觀念があり、芸を演じる場所には必ず神の席が設けられてあり、神は高い所に居て、何かの目印によつて降臨するという考へから、櫓の梵天がいわばの神の足掛りだったのである。櫓という言葉は劇場のシンボルとなり、代名詞ともなつた。かくして遊女歌舞伎禁止の寛永六年から、正保、慶安を経て二十三年目の承応元年（一六五二年）、ついに美少年達の魅力を代表するものであり、若衆の生命だった前髪を剃ることを幕府より命じられた。將軍家始め大名の豪華な衣裳と連関して、「俳優の衣裳を贅沢にはいけなない」、「男が女に扮することはいけなない」、「女が男の一座に加つて出演することもいけなない」、「俳優は乗物にのつて人を訪ねてはいけなない」、「狂言に現存の人名を使つてはいけなない」、「若衆歌舞伎の俳優は前髪を剃り落さな

くてはいけない」という布令が再び「若衆歌舞伎」をも禁止させてしまったのである。しかしこの二十年は世はまさに「踊狂時代」といつてよかつたであろう。そしてあれ程の若衆かぶき踊りの愛好者だった三代將軍家光の死が、慶安四年（一六五一年）に訪れたことも、若衆歌舞伎禁止に無関係ではなさそうである。

この間寛永十九年（一六四二年）には浮世草子の大家井原西鶴が生れて居り、承応元年には歌舞伎界に画期的な革命をもたらした著名な戯曲家、近松門左衛門が生れて居る。

若衆歌舞伎禁止になった江戸では、七軒の興行師が連署して、以後男に扮する俳優は誰々、女に扮する俳優は誰々という風に肩書を附し、届け出るといふ条件で、これだけは許可になった。その時の裁可の文書に「男方誰女方誰と肩書に致し紛らはしき儀これなきよう」とあり、「男方」といふ言葉が使はれて居るが、間もなくこのような云い方はなくなり、男に扮する俳優は「立役」といふようになった。

前髪を剃り落し、当時の言葉の「野郎のあたま」になったことよつて、俳優はそれまでのように容色の美しさのみに競うことから一歩進んで、まず舞台では技芸を見せようとする事になり、又同時に地の頭ではなく、役柄によつてかつらを工夫しようとしたことなどから、日本

の演劇・舞踊に大きな進展を遂げた。

これが今日までに及んで変らない「歌舞伎舞踊」の形態的基盤を築いた「野郎歌舞伎」なのである。歌舞伎舞踊はこの時を機して一転し、内容的な充実と形式の完成へと、以来今日までの確固たる歴史を築いたのである。（つづく）

#### 右近源左衛門（一六二二年元和八年）

初期の歌舞伎に女形の演技を植えつけた先駆者として、女形の祖と呼ばれ、また昔々物語に「三味線一人、地謡一人にて源左衛門芸する時、今の髪というものなく、鬻金の服紗（うこんのふくさ）に細き糸を付けて額にかぶり、その服紗を月代（さかやき）に打掛くるにより、月代を隠す。面体奇麗の若者なれば女の如く思ゆる」とあり、これで月代をかくすに服紗とか手拭のようなものを用いはじめた。この服紗から帽子になり、帽子に工夫が加えられて女形が艶治ぶりを発揮するに至つた。

この頃の舞踊の名手で「女方古今無類なり」と評判記「剣野老」（むきところ）に激賞された玉川千之丞の一日の給金が一両、一年三百六十五両ずつ取つたと、西鶴の「日本永代蔵」にもしるされている。一日一両は現今のことにしたらば約二万円以上に当るから、月給にして六七十万円になった。これからみると相当の厚遇であつたことがわかる。——日本演劇全史より——（A）

日本演劇協会主催の第六回演劇講座が、十二月二日から三日間朝日講堂で開催されます。

毎夕五時半開会、会費は三回通して五百円、当日のみは二百五十円です。

プログラムは左記の通りです。

十二月二日／ブレヒトの戯曲とその理論の解明  
／「叙事的演劇について」の内垣啓一・「ブレヒト作品を演出して」小沢栄太郎・「ベルリナー・アンサンブルを観て」安部公房・「私のブレヒト観」木下順二・特別講座「演技について」ヘレン・ヘイズ・ロムニー・プレント司会尾崎宏次

十二月三日／演劇界各分野で活躍している俳優の歩みを探究してその人と芸「滝沢修」聞き手尾崎宏次・松下砂子。「榎本健一」聞き手高島忠夫。「英太郎」聞き手秋山安三郎。「尾上多賀之丞」聞き手安藤鶴夫。司会大木豊

十二月四日／テレビのドキュメンタリーの観点  
・小山内薫研究など／「テレビドキュメンタリー観点」小川和夫「実存主義と不条理の演劇」内村直也。「最近の海外演劇事情」河竹登志夫。

演劇人研究「小山内薫」その業績戸板康二  
「その人と作品」小島政二郎「思い出」山本安英  
協会員のご参加をのぞみます。

なほ詳細は日本演劇協会事務局

☎（五四一）八五二八へ

## ハロー・ドリーの

## 舞台装置

朝日ジャーナルより抜粋

九月宝塚劇場で公演された「ハロー・ドリー」の機能的な舞台装置が好評であった。

オリバー・スミス(一九一八年生)は昨年日生劇場で公演された「ウエストサイド物語」の装置家であり、スミスの装置の特色はその高度の単純性にある。

たとえば家や建物の断片的な部分を抽象的に使つて、全体を思わせるやり方—この手法は舞踊の要素が多く、したがって踊り手のために空間をたっぷり用意してやらなければならない「ウエストサイド物語」でいっそう顕著に見られたが、こんどの「ハロー・ドリー」でも随所に生かされていた。

そして、この単純化のおかげでかれの開発した最大の革新といわれる可動背景が思うままの動きを持つようになり、それが機能的な舞台転換につながってくるのである。

例へば「ハロー・ドリー」で第一幕と第二幕のあいだにいちどの休憩があるだけで、全十五場がいささかの渋滞もなく、スムーズに転換されていく。セットは左右にひかれたり、裏返さ

れて帽子店の外側が内側になったり、バックドロップが上げられたり、下げられたりして、小気味のいいくらい、するすると場面が変わっていく。むろん、道具方のトンカチやる音などないこのスムーズな舞台転換のために、音楽も演技も、とぎれなく流れるように展開されていく。ちようと、しっくり合った二つの歯車のように

に、舞台運びを背景の転換が、有機的にかみ合っていて、それがなだらかなスピーディーな演出を可能にしている。

もつともかれは一九六〇年の「キヤメロット」の場合のように、*ク*世界のもつとも美しいジョークといわれたような入念な装飾をほどこすこともある。

だが、「わたしがアメリカ様式の舞台デザインを打ちたてるのに試みたことの一つは、セットを、そのもつとも単純な要素に還元することだった。この単純化は経済的な必要からではなく、よけいな無関係な細部を排除することによって、優雅な上品な感じを生みだしたためだった」と、かれ自身が述べているように、あくまでも単純で、スマートであるのが、かれの舞台美術の身上なのである。

「ハロー・ドリー」のプロデューサーのデビッド・メリックがいうように、「たいていのデザイナーは赤とか、緑とか、一つの色しか駆使で

きないが、スミスなら、そのショーの要求するどんな基調色でも使いこなしてくれる」万能選手であり、そのうえ、どんなジャンルや、どんな時代のものでこなす。しかも仕事はめつぱう早く、おまけに多量で、これまで手がけたショーは約二五〇になるといふからまさにプロードウエーのトップ・デザイナーである。

そのおもなものをあげるとつぎのようになる。

「オンザ・タウン」「ドリオン・ダラー・ペビ

ー」「紳士は金髪がお好き」「ハイ・ボタン・

シューズ」「ミス・リバティ」「回転木馬」

「マイ・フェア・レディー」「フラワー・ドラ

ム・ソング」「サウンド・オブ・ミュージック」

「不沈のモリー・ブラウン」「ベイカー・スト

リート」など又バレエ、オペラのためのデザイ

ンを好んで「ロデオ」「ファンシー・フリー」

「インタープレー」「ファル・リバー物語」

「不安の時代」などのバレエや「椿姫」「マル

タ」などのオペラの装置もやり、そのほか、サ

ルトルの「出口なし」をはじめ、アヌイやノエ

ル・カワードやアンダーソンらの劇の装置もや

っている。さらに「アメリカン・バレエ・シア

ター」の一九四五年以来の共同主宰者でありプ

ロードウエーでも一九四四年以来デザイナーの

ほかに共同プロデューサーとして、ミュージカ

ルを製作してきている。

# 国際照明器具記号

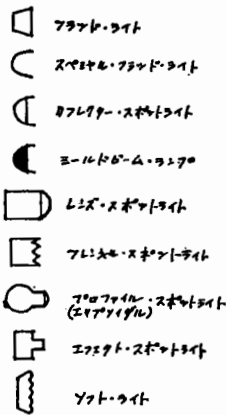
## に関して

### 小川 俊明

今年のイスター(三月二二日~四月二五日)にチエコのプラーグで行われたCIE(国際照明委員会・Commission Internationale d'Electrotechnique)の会合に於いてはチエコのCIE委員会の招待による三六のオペラ団による四九回のオペラ公演、一五のバレエ団による三三回のバレエ、六三の演劇グループによる三三回の演劇が。一五の劇場に於て盛大に催されるといった豪華版であったが、中でも特に記憶するべき出来事としては、我々が俗に照明器具又はライト(Lights)(英) Luminaries(仏)と呼ばれる概念に関して具体的な記号(SYMBOLS)が設定されたことである。この委員会の実質的なメとして、ベルギー、チエコ、フランス、イスラエル、英国、ソヴィエト、それに東独がオプザーバーとして参加。米国が単に書面での会議に参加したにとどまったのは残念である。

各国から提示された記号は、だいたい基本的に似たものであり、委員会の適当な調整によってすぐ統一されたものである。またこの結果に基づき、各国語による記号表示が一九六七年に米国ワシントンで行われるCIEの世界会議に於いて批准されることになっている。この会議に於いては調光方針(Dimmers)及び操作方法(Control system)について何等かの相談がもたれるものと期待されている。

ABTT(英国照明協会)では個人的な好みはともかく、会員がこの記号を使用するよう強かに呼びかけ、一方英国最大の照明器具メーカーであるストランド(STRAND)会社では便宜のために大、小二種のセルロイド製型を製作して配布するそうである。



- 一、フラッド・ライト (Flood Light)  
光線角度一〇〇度〜一八〇度のも
- 二、スペシャル・フラットライト  
(Special F.L.)

光線角度一〇〇度以内の狭角のもの及び光線をカットする設備のほどこされたもの。

- 三、リフレクター・スポットライト  
(Reflector Spot Light)

反射鏡(リフレクター)を有し、光源又は反射鏡を移動することによって光線角度を調整出来るもの。

- 四、シールド・ビーム・ランプ  
(Shielded Beam Lamp)

五、レンズ・スポット (Lens Spot Light)  
レンズを使用して、光源又はレンズを移動することによって光線角度を調整するもの。

六、フレネルスポット (Fresnel Spot Light)  
光線をやわらかくするためにフレネル・レンズを使用したスポット

- 七、プロファイル・スポット又はエリプソイド  
ル・スポット  
(Profile Spot Light, Ellipsoidal S.L.)

いわゆるレコ (LEKO)又はシャープエッジ・スポットと呼ばれる大砲型のスポットで、適当なカッター、又は打抜型を入れることによって投射面を区切ったり、模様を投影することが出来るもの。

- 八、エフェクト・スポット  
(Effects Spot Light) 投影機のみ。

【次頁上段へ】※

## 九、ソフトライト (Soft Light)

広域に散光を出すもので明瞭な影の線を出さないもの。舞台照明ではバトンに吊下げられた「ボーダライトのようなもの」

TBBS VOL23 No.3

Sept 1965 11頁

「タツブス」と云うストランド電気会社(英国)の最大の照明器具製造会社)が年間四回発行する小雑誌の中に照明記号のことが解説されておりましたので、簡単に訳を付けてみました。またストランド電気会社は器具製造ばかりでなくいろいろな事業にすぐく積極的に乗り出している会社である。

## 矢野信吾氏の

## 「コンテによる作品集冬の日」個展

十二月五日(日)より十一日(土)迄

銀座クリスタル画廊(銀座松坂屋うらスエ

ヒロの前)朝十時三〇分より七時迄

開催皆様のご高覧をお願い申し上げます。

## 中部だより

中部日本放送のテレビ技術部次長兼照明課長として活躍された当協会々長の柘植貞輝氏は九月一日付を以て照明課長の兼務を解かれま

(彩光五九号より)

## 舞宝で興行収入の歩合制採用か

朝日新聞十一月十八日夕刊文化欄で菊田一夫東宝専務が「劇作家ひでり」を題して面白い脚本を呼出すための一つの方法として、興行収入の歩合制を脚本上演料、舞台装置料等の金額に採用すると発表された。以下抜粋すると

私のところ東宝では、来年一月あるいは二月を期して、劇作家、音楽家、舞台美術家、照明家、音響効果担当者等に差上げる脚本上演料、舞台装置の金額を興行収入の額に従う歩合制にしたいと思っている。たとえば脚本料は、各作家に現在差上げている額を最低保証として支払い、劇場の興行収入が、作家との話合いで決められた基準額を突破し上昇した場合には、そのパーセンテージにしたがってそれだけの金額を上積みとして差上げるのである。劇場が超満員となれば作家は現在の脚本上演料の倍以上か、あるいは何倍かを受けとることができるのだ。他にも同様である。

外国と日本では興行形態がちがうが、スタッフに対しての支払いだけは、つまり外国の興行方式を採用するわけである。作家へのはげましとなり、面白い脚本への呼び水となればさいわいである。近日中に各演劇職能団体と話合いたいと思っている。

すべて面白い脚本を呼出すための一つの方法なのである。

## 新刊案内

## 日本舞踊曲集覧 森治市朗編 定価二五〇〇円

邦楽舞踊曲全集として従来の素唄歌詞集と異なり舞踊地方専用の歌詞、(オキ、チラシ、セリフ等)長唄一三三曲、清元六七曲、常盤津五九曲、義太夫一〇曲、俗曲八四曲、地唄二〇曲、箏曲二二曲、新内小唄四二曲、新内二五曲、哥沢三三曲、小唄二七三曲を収め、その解説と共に舞踊上演上必要な大道具、照明(一部分)、小道具、衣裳、かつら等も参考に曲目別に附記した宝典で、またテープによる所要時間の表示、各曲終りに「所作の秘伝」、「舞の六能」、「帯の結び方の名称及型」、「かつらの型の名称」、「扇の型の説明」、「舞台用語」、「手拭のかぶり方と鉢巻の型」等々日本舞踊に関してこれ以上、歌詞、セリフ、音の入れ方、解説等実際上に必要なことが網羅されたものはないと断言できる資料です。ご一覽を望みます。

また、照明界の先輩久本十美二氏が照明と衣裳の説明に担っておりま。

なお創思社、及び森治市朗氏のご好意により当協会員に対し割引の持典が得られましたのでご希望の方は事務局までお知らせ下さい。

期間は十二月末日までとなりますのでこの点、お見逃しなきように、

(阿部)

事務局通信

消息

(敬称略)

滝尾輝雄 十月十日両国同愛病院三階第二外

科ベット番号二二一八。胆石のため

入院治療中。

齋藤政雄 歌舞伎ヨーロッパ公演随行之処。

十一月五日元氣にて帰国

住所変更

小川俊朗 日野市平山一、五五五

吉田英雄 (文学座) 大田区田園調布二丁目四

番九号 (今和泉方)

矢野信吾 北区西ヶ丘二の十九(寿楽荘)

新川順吉 (今井照研) 中央区勝鬨三丁目九番

七号 電話 (五三二) 八〇六七

所属変更

吉田英雄 フリーより文学座へ

江塚東一 静岡公会堂より駿府会館へ

菊地忠孝 駿府会館より静岡公会堂へ

新入会員紹介

山本貞夫 長野県飯山市民会館 長野県飯山

市大字静間一九八の二

昭和三四年長野野商工会館勤務舞台

照明に従事

昭和三十七年十一月飯山市民会館勤

務舞台照明担当現在に至る。

計報

上條申午 (名与会員) 十一月七日脳溢血の

ため死去、八日葬儀、会長他協会員

多数が参列した。

日本照明家協議会開催

十二月四日午後二時大阪宝塚寮にて

議題会計報告/器具記号統一の件その他九件

福祉厚生委員会より

厚生資金についてのご相談は大野委員にご連絡

下さい。電話 (三七二) 六二七一へどうぞ。

会費未納督促状発送

十一月十三日四十年六月以前未納者に対してご

案内状を差出しましたのでよろしくご協力の程

お願申し上げます。

日本俳優協会事務局移転

中央区銀座東六の九新橋演舞場別館

電話 (五四三) 〇九四一〜〇九四二

芸術議員連盟事務局移転

千代田区永田町二丁目十二番

衆議院第二議員会館四三三五号室事務担当宮本

由美子氏 電話 (五八一) 五八九七

日本放送芸能家協会事務局移転

中央区銀座西七丁目八番地電通西別館

電話 (五七二) 一九二〇番

プ リ セ ッ ト

▼十一月のシーズンも終って、早くも師走の月を迎えて、恒例歌舞伎座忠臣蔵の初日があけば、あとは堰を切ったような勢いで新しい年に進んでゆく感があり、流れの跡に歴史がつくられるのではないかと▼今年一年の成果を省みれば、予定通りすすんだ人も、七分通り、またなをやってもうまくゆかなかった人もあると思う▼国事も混沌として、暗中模索で僅かに都議員刷新が一条の光明か▼協会の活動はどうであったか。問われても、胸を張って、答がでそうもない。僅かにこの四日、大阪での協議会で「照明器具記号」が全国統一できるはこびになった、長い間、討議されたものだ、昭和三十二年三月発行の会報一号に、篠木、瀧尾両氏が提案され、また同じ号に「声」の欄に故里見進氏が投書しているのが見られる。三十三年四月発行会報第二号に委員会報告が載り、委員長篠木氏の名で、東京だけが決定を見て、一覧表ができ、協会の使用を望む記事がのり、三十七年九月日本照明家協議会が発足、三十八年八月協議会連絡会の席上、全国統一問題が提出され、二年間、各地区で委員会が設置、討議され、十一月に三地区の案がまとまった。この間世界の照明界にもこのような動きがあり、これらの資料を参考にして、つくられたことも意義があると思う▼これから、ハンドブックの発行、ライセンズ問題と重要問題が山積している現状、誰れかがやる考えは返上して、積極的に協会員各自が自分等の協会であることを自覚して新しい年に進もうではありませんか。